

新年あけまして

おめでとうございます。

昨年中、皆様には大変お世話になりました。

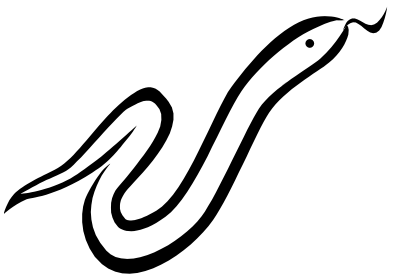
今年が健やかな平和の年になりますよう、

心から御祈り申し上げます。

平成25年元旦

塾長 上谷 恭範

他、教職員一同



巳年の正月にあたって — 塾長の願い —

塾長 上谷 恭範

今年巳年です。巳とはへびの事。漢字の語源は胎児を表わしたもので、母親が子供をお腹の中で包み込むようにしている様を表わした漢字、つまり包むと同じ意味、巳年は新しい誕生です。(ヤフー検索から)

したがって、今年私達教職員は例年以上に塾生をあたたく、しっかり包み込んで大事にしていきます。保護者のみなさまご安心して私達修明塾におまかせくださいませ。

ところで、受験生にとっては、今まさに正念場です。正月気分どころではありません。志望校に對峙して思いっきり闘い、勝ちぬいてください。受験直前の勉強方法は、志望校での出題頻度の高い単元を教科書、並びに塾の教材でくり返し覚え暗記することです。

そして本番の試験での点の取り方は、自分の得意な分野、問題であるかどうか、絶対100%取らなければならない問題であるかどうかを区分けし、取れる問題を確実に取っていくことです。難問を意地になって解く必要はありません。

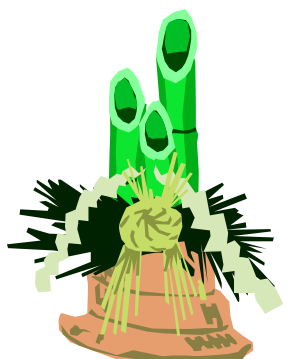
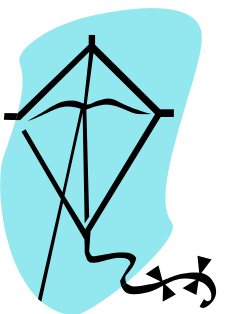
全員志望校への合格をお祈りしています。

受験生以外の皆様—幼児から中学2年生までの塾生並びに保護者の皆様—勉強の正しい心構えを基本知識ができていない方々は今年しっかり身につけていくようにしましょう。

日常生活上での正しい言動(朝起きたら…、食事時は…等々)正しい勉強姿勢(正しいノートの取り方…、授業中おしやべりしたり、勝手に席を離れたり…等々)基本知識が欠如したり(計算ができない…、文章がスラスラ読めない…、正確にひらがなから漢字が書けない…等々)以上のことはできるだけ低学年の時にいねいに正確に身体で覚えていくことです。私共のドリームスクールでは、修学前から中学3年の一学期までこれらの基礎基本の学習を徹底して追及しているクラスです。

勉強の力は毎日少しずつの積み重ねで一步一步前進し、身につけていくものです。

みなさん今年も弛まず、あせらず、じっくり勉強し、修明塾で学んで本当に良かったという年になりますようお祈りいたします。



高校受験(その後…)の思い出

柴田 圭

私は秋田県出身で、公立が圧倒的優位の充実した教育環境(全国学力テストのトップ県)の中で育ち、初めての受験が「高校受験」でした。親族に教育関係者が多かったこともあり、幼い頃から、学習面や将来の進路に対する「過剰な期待」と「多くの干渉」がありました。そうした環境で過ごしていくと、私は少しずつ、「周囲の期待に応え、認められることだけが、自分への評価」と考えるようになり、ひたすら勉強に励む毎日を送りました。そして、「勉強はできて当たり前」「名門校に入学し順風満帆な学業生活を送り将来も有望」といった自尊心が、私の心の中に芽生えていくのが自覚できたくらいです。(↑ここまでは、現在とは性格も価値観も異なる昔の私です。嫌な奴の典型ですよ…)

私は、母も通い指導を受けたベテランの先生がご健在であったため、その塾へ通い、当時の偏差値で65ほどの学区内のNo.1の伝統ある進学校に念願の合格を果たしました。この時までには、自分自身の努力の結果を何も疑わず、その先の難関大学への夢を膨らませていました。しかし、入学後に転機が訪れたことは言うまでもありません。高校では「勉強が難しくついていけない」「テストの点数も取れない」など、大きな挫折感に打ちのめされました。その経験が、私自身を大きく成長させました。

○「なぜ点数が取れなかったか」原因を分析し、学習の工夫をする

○「精神的な強さ」を身に付け、「自己解決力」を養成する
今こうして、私は塾講師として仕事をできるようになり、自分の子供時代の出来事を重ね合わせて、「生徒の学習上の悩みを解決する」心構えをいつも持っています。

皆さんと修明塾を通して出会うことができたのですから、一緒に「勉強の楽しさ」を共有しましょう。

中学受験にまつわる想い出

寺川豊

中学受験は、当時の私にとっては色々初めてづくして戸惑うことの連続でした。試験当日、まず受験校に行くのが初めてでしたし、塾以外の会場でテストをするのも初めてであれば、大人数でテストを受けることも初めてでした。地元の大手塾などは集団でやってきて、塾の先生たちの熱い見送りを受けながら、悠々と試験会場入りしていきます。それに対して私は、親に見送られた後は、受験生の波に押し流されるようにして会場入りしました。見ず知らずの大きな建物の中を、人波におぼれそうになりながらも、人波をかきわけかきわけ、私はなんとか自分の受験番号のある教室にたどりつくことができました。(私の母は心配性で、受験番号はかなり早かった記憶があります。)

私はそれほどあがり症ではないのですが、自分の席を見つけると、塾の先生に教えてもらった、心が落ち着くおまじないを実行していました。当時塾の先生から教えてもらっていたおまじないは次の2つでした。一つ目は、「試験官の顔を一番似ている野菜に置き換えてみなさい」というもので、二つ目は、「天井の傷の数を数えなさい」というものでした。残念ながら今となっては、当時の試験官が野

菜の中で何に一番似ている顔をしていたのかは覚えていません。

肝心の試験の方はというと、国語はそこそこ、数学はイマイチ、理科・社会はほとんどできなかった、といった印象でした。受験会場は不思議なもので、他の人がみな秀才(ガリ勉)に見えてきます。とにかく全ての生徒が賢そうな顔に見えてしまうのがないのです。試験と試験の間の休み時間には、受験生のほとんどが廊下に出て一様に参考書を開き勉強を始めます。私は、試験の手応えから「落ちたな」と思いました。

家に帰ると、私は不意に溢れてくる涙をこらえることができませんでした。しかし、当時は私も思春期を迎えた男です。涙をぼろぼろこぼして親に抱きつくことはできません。私は受験で疲れた様子を演じながら、こたつに入り寝たふりを決め込みました。そして時折溢れてくる涙は、泣いていることがばれないように、こまめにその跡を拭っていました。その傍らでは、母が「今は疲れて眠っていますので、今日は塾をお休みさせて頂きます」という電話のやりとりをしていました。私は隣でその母の電話を聞いた途端に(寝たふりですから当然聞こえています)余計情けなくなり、涙がとめどなくあふれてきたのを今でも覚えています。その後あまりにも涙が止まらないので、私は結局こたつの布団に顔をすっぽりうずめて隠してしまいました。そしていつしか私は眠りに落ちていました。(翌日、受験校からは合格を頂きました。)

私は受験についてはこの想い出があります。その日であるというを生徒には伝えていませんが、今は泣くほど悔しい思いをするまでに頑張ることができた子供自体が減ってしまったように思います。受験生には、志望校を自分のレベルに合わせて下げることとせず、その志望校には絶対に受からなければならぬんだという気概を持って、日々勉強に励んでほしいと思います。

受験は楽しく

出井寛太

5年生の初夏に入塾したので、2年弱の中学受験生活でした。思い出してみると、色々ありました。勉強が手につかないほどつらいときもありました。そんな時、私は勉強が楽しくなるようなアイデアを考えました。といっても、ゲーム性を取り入れたり、公園や図書館で勉強したり、といった程度のものでした。それでも、つらさが和らぎ、やる気が出てきました。

この場合、数々のアイデアはきっかけに過ぎませんでした。「楽しもう」という強い気持ちを持つていたからこそ、積極的に勉強するようになったのだと思います。この件があつて、「勉強が楽しくなるかも」気付きました。

それから、常に「楽しもう」という気持ちで毎日の勉強に臨みました。おかげで受験勉強を最後まで頑張り抜き、幸運にも第一志望に合格しました。私にとって中学受験は、大きな自信となった体験でした。

ラストスパート始動の冬期講習 神保克明

冬期講習は中学入試直前で、今までで一番勉強した時期のひとつです。昼から夜中まで起きていた時間のほとんどを塾で過ごし、正月も休みなしに勉強しました。先生方には本当に良く面倒を見ていただき、勉強する意欲を失うことなく勉強できたことに今でも感謝しています。内容は志望校の過去問を繰り返して問題形式に慣れる訓練と、算数は基本問題の徹底、国語は漢字・ことわざ慣用句の暗記、理科社会は基本事項の暗記・暗記・暗記でした。特に、学園長の社会の暗記課題をいかにこなすかに苦心した記憶は今でも鮮明です。そこで鍛えられた頭の使い方、創意工夫のしかたは今でも僕の財産です。冬期講習で身に付いた勉強、算数の基本問題をこなし、国語文章問題を一日一題こなし、理社の基本事項の復讐といったことは習慣となり入試までのラストスパートになり、合格できました。

受験終盤だからこそ

御厨 裕貴

受験間近のこの時期、今こそが一番楽しい時期ではないかと私は実体験から思います。なぜなら今まで苦労して覚えてきた知識を一気に発揮させる機会ができるからです。

中学受験の勉強は非常に特殊なもので、小学校の勉強はもちろん、中学で学ぶような内容、そして大人でも忘れていたりするような内容にまで踏み込みます。そういった勉強をするということはたいへんな苦労があると思います。

ところが、受験間近になると、志望校の過去問演習を行います。演習では、蓄えた知識を十二分に使わなければなりません。小学校のテストが高得点、大人に「ものしりだねえ」と褒められる程度だった受験勉強の成果が目に見えてくるわけです。

「なんでこんなこと覚えるんだろう」などと言っていたこれまでの覚えることが中心の勉強から覚えたことを活用する過去問演習は、わたしにとっては解放感さえありました。

最後に、父から本試験に際して言われたことを書きます。「試験を楽しんできなさい」

幼児英才教室入試結果

- 筑波大学附属小学校 合格おめでとう!
- 川村幼稚園 合格おめでとう!
- 聖心女子学院初等科 合格おめでとう!
- 東洋英和女学院小学部 合格おめでとう!
- 日出学園小学校 合格おめでとう!
- 受験生、ご父兄の皆様 本当にお疲れさまでした。

そして・・・次は中学受験・高校受験です! 受験生の諸君、あともう少しです。がんばって行きましょう!!

修明学園 平成25年1月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1月 4日～7日 冬期講習
- 1月 8日(火) 修明塾1月通常授業開始
- 1月 20日～ 千葉県私立中学入試スタート
- 1月 27・28日 都立高校推薦入試
- もうすぐ中学・高校受験 ラストスパート!



ご感想・ご意見をお寄せください。修明学園本部 電話03(3862)9218 もしくはメールhonbu@syumei.co.jpにて受付けております。